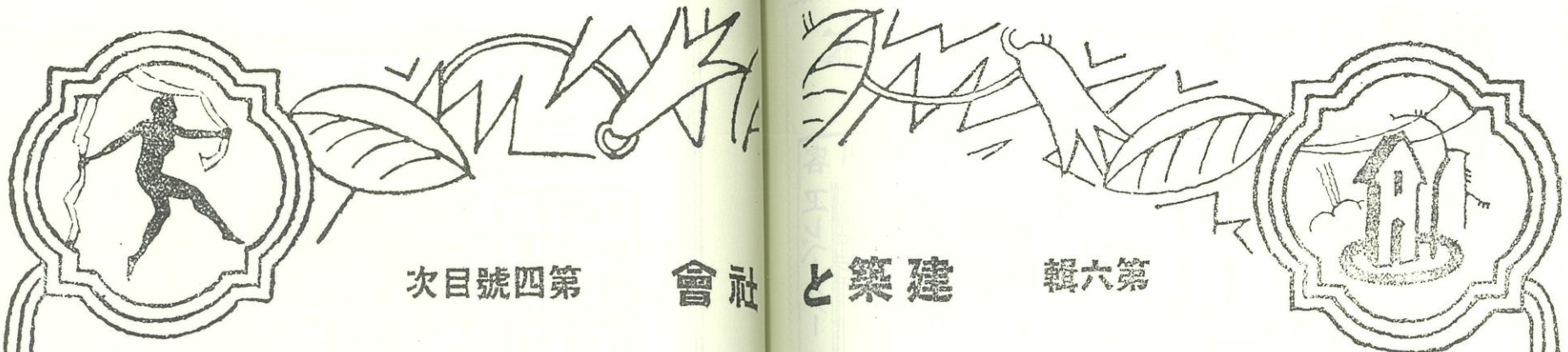

第六輯　建築と社會　第四號目次

口繪　（神戸市の典賞募集に係る「絢ケ林公會堂」設計圖案（第壹等當選））

〔卷頭〕

▽詩と建築……

〔論說〕

▽建築の意義と建築家の責務……日本建築協會理事長　工學士　池田　實　二

▽最低制限の問題（甲）……工學士　菱田　厚介　三

▽日本の建築に就いて……工學士　池田　稔　一七

▽何をか求むべき乎……法學士　大須賀　巖　二四

〔研究〕

▽第四次元より裝飾へ（畢）……伊藤　正文　二九

▽價値材Kulturgüterとしての建築（二）……山崎萬壽夫　三三

〔都市〕

▽中都市の計畫……田中　清志　三七

——堺都市計畫の發足に際して——

▽進め過群より花園へ（三）……都市計畫技師　大屋　靈城　四〇

〔講演〕

▽電熱の應用に就いて……工學士　佐立　健雄　四六

〔住宅〕

▽理想に目覺めてさゝやかなる住宅に先づ生活改善の初一歩をつけたる泉南の富豪種子島源兵衛氏と其住宅……江村　郊邨　五七

〔資料〕

▽英國建築士業務上の行爲及常習……六五

——日本建築士會中村達太郎博士註譯——

〔史傳〕

△サー・クリストファ・レェン……大阪府建築課員　池田谷久吉　六九

〔漫錄〕

▽紐育雜記……在ブリストン大學　寛　八五

▽感じの良いと思ふ住家……伊藤二世子　九四

〔會報〕

▽日本建築協會三月中記事